

特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する
学校における指導・支援の在り方等に関する
有識者会議（2022年2月16日）

子どもの主体性に配慮した学びを創る

 天童市立天童中部小学校
校長 大谷敦司

教職員で考えたこと

◇教師主導ではなく、子どもたちの主体性を大切にした教育を進めることで、
子どもたちは自分らしく学び自分のよさを一層発揮することができる

○2017年度版学習指導要領

・「個に応じた教育の充実」 主体：教師→学習者、主眼：教授→学習

○令和3年中央教育審議会答申

・多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子供たちの
多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実

◇子どもの主体性に配慮する際のキーワード

- ・自由
- ・自己決定
- ・仲間への信頼
- ・居場所(安心)
- ・自信
- ・意欲

子どもたちと学びを創るための共通理解として

子供たちは、
「自分だけよければいい」
「出来ない人を羨望にする」
「自分だけが優越感を持つ」
等という存在ではない。

もし、「学校で」そういう暮らしをしていないとすれば、私たちが原因である。
・指示的、圧迫的、競争的、...
あるいは
・「結果にコミット」していないと、内省できるか。

本来、子供たちは、
・一人一人学ぶ力があり、
・みんなで教え合い、助け合い、
育ち合って成長していく存在だと、「本気で」「言い訳なしで」信じられるか。

すべては、子どもを**信頼**することから始まる

二つの合言葉

- ◇ 子どもたちが、今も未来も幸せにくらすことができるように支援する
- ◇ 子どもたちが、最終的には私たち(教職員)がいないところでも学び合うことができるように支援する

めざす授業

◇子どもがする(学習者主体の)授業

研究理論

◇ **理解**

・ 内容研究 ・ 子ども理解

◇ **覚悟**

・ 子どもたちの学びの文脈に沿う

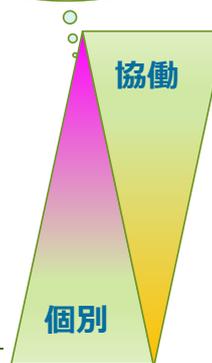
→“ずれ”は、カリキュラム・マネジメントへ

◇学校教育の柱は「授業」

4つの授業スタイル

あえて極端に分類すると

時 間	8割	◇仲間と教師で創り上げる授業
		◇自学・自習
2割		◇ <u>マイプラン学習(単元内自由進度学習)</u>
		◇ <u>フリースタイルプロジェクト(個人総合)</u>



MP (マイプラン) 学習

~単元内自由進度学習~

◎学習方法を子どもたちが決める

・自らの判断と責任で自由に

◇取組みの基にある考え方

子どもたちは学びたがっているが、[「みんなが同じよう」に学ぶことができるわけではない](#)

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| ・ 興味や関心は一人ずつ異なる | … 軽重の付け方
学ぶ順序
学びたい発展的な内容 |
| ・ 学ぶ「はやさ」は一人ずつ異なる | … 時間配分
学ぶペース |
| ・ 学びたい場所 | … 教室、オープンスペース、ホール、特別教室 |
| ・ 学び合いたい形態 | … 一人で、少数の仲間と、集団と |



自分で学ぶ計画を立て、学習を振り返り、計画を修正しながら学びを進める

◇取組みの枠組み

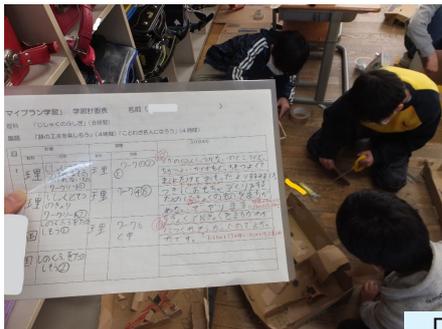
- 教育課程上の位置づけ(対象教科や時間数等)
 - ・ 特別支援学級を含め全学年・学級で実施
 - ・ 基本的に、学期に一つの単元を設定（1学年は2学期から開始する）
 - ・ 原則として二つの教科を組合わせて一つの単元を作る（国語・社会・算数・理科で実施）
 - ・ 一単元15時間程度
- 教材や学習内容
 - ・ 子どもたちの実態に合わせて
- 指導体制
 - ・ 各学年の担任…複数の学級が同時に取組む際は学級の枠を超えて指導
 - ・ 必要に応じて支援員等も活用する
- 活動場所
 - ・ 自教室を基本としながら、オープンスペース、特別教室、ホール等

令和3年度3学期のMP学習の内容

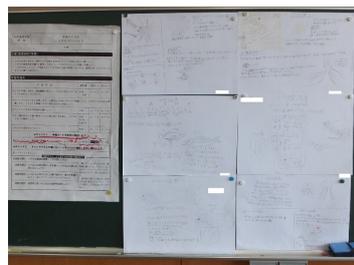
- 1年(10時間) … 国語(上位語と下位語)
算数(大きい数・広さ・時計)
- 2年(10時間) … 国語(様子を表す言葉)
算数(はこの形)
- 3年(14時間) … 国語(詩の工夫、ことわざ名人)
理科(磁石の不思議)
- 4年(19時間) … 国語(中心となる語や文による要約)
算数(広さの表し方)
- 5年(18時間) … 社会(国土の自然とともに生きる)
算数(正多角形と円周の長さ)
- 6年(14時間) … 社会(歴史ワールドの攻略)
理科(てこのはたらき)
- 特支(10時間) … 国語(書く・自分らしく表現)
算数(数と計算)

MP学習についてのアンケート (2021年2月26日実施/対象:全児童/回答数:651)

項目	【(1)やってみての感想】				【(2) (1)で①,②と感じた理由(複数回答可)】							【(3) (1)で③,④と感じた理由(複数回答可)】						【自由進度学習をまたやってみたいか】			
	① 楽しく学ぶことができた	② どちらかといえば楽しく学習できた	③ どちらかといえば楽しく学習できなかった	④ 楽しく学ぶことができなかった	① 自分で計画を立てることができた	② 自分のペースで学ぶことができた	③ 自由に動きながら学ぶことができた	④ 仲間と学び合うことができた	⑤ 普段よりも工夫された活動があった	⑥ 普段の授業よりわかったりできた	⑦ その他	① 自分から計画を立てるのが難しかった	② 何をすればよいか分からなかった	③ 落ち着いて学ぶことができなかった	④ 先生に教えてもらおう方がいいから	⑤ 普段の授業よりわかったからなかった	⑥ その他	① 是非またやってみたい	② どちらかといえばやってみたい	③ どちらかといえばやってみたくない	④ まったくやってみたくない
	95%																88%				
割合	75%	20%	4%	1%	12%	25%	13%	19%	12%	16%	3%	23%	21%	10%	21%	21%	4%	69%	19%	8%	4%

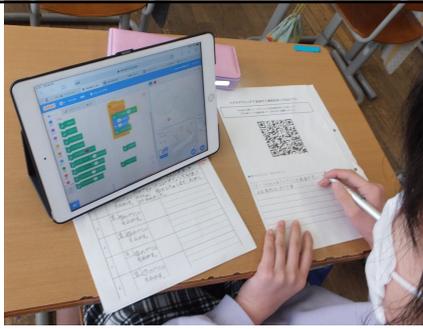


「集団」の中で
「個」で学ぶ



思った場所で、
思った形態で、
思ったように学ぶ



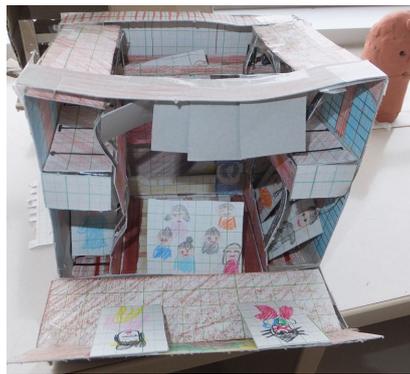


仲間と共に学ぶからこそ、
自分らしく学ぶことができる



マイプラン学習 社会	学習のてびき 町人の文化と新しい学問(江戸時代後半)		
名前			
目標(標準時間5時間)			
<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代の中ごろから、どのような新しい文化や学問が生まれ、社会にどのように広がったか理解しよう。 歌舞伎や浮世絵など現在まで受け継がれている文化や、蘭学や国学が社会にどのような影響を与えたのかに着目し、文化の特色や世の中の様子について考え、まとめよう。 この時代の政治の様子や文化と、今の自分たちの生活との関わりについて考えてみよう。 			
学習の流れ			
学習の課題	教科書	資料集	
①ガイダンス 自分で学習計画を立てる。【 】は、主な内容。	P90~91		
②「江戸時代に新しく生まれた文化」～江戸時代中ごろ～ 人々に親しまれた文化とは何か、またその文化で活躍した人はだれか調べよう。 【・人形浄瑠璃・歌舞伎・浮世絵】	P92~93	P94~95	
ミニチェックカード ①			
③「新しい学問と新しい時代への動き」～江戸時代後半～ 新しい学問が、社会にどのようにいききょうを与えたのか調べよう。 【・蘭学・国学・新しい時代への動き】	P94~97	P96~97	
ミニチェックカード ②			
ここまでは全員取り組もう。			
4ひろげよう(チャレンジタイム) 自分で取り組みたい課題にチャレンジしよう。 ●N4-K for schoolを視聴する。(歌舞伎・浮世絵…など検索) ●関係のある書籍や漫画を読む。 ●大塚藩など各地の学校(藩校)の名称を調べる。 ●文化や学問について、キッシュフレーズ(5・7・5音で)を考える。 ●ロイロノートでデスタを作る。 ●ソアラ風に江戸の町を作る(算数とコラボ)。 などなど	P98~99		
※算数で取り組んでもOK			
★毎時間の終わり、計画表に、学習内容と振り返りを記入します。計画は、途中で変更することもできます。			
★②、③の学習について ノートやロイロノートでまとめます。自分の学習の視点にそってまとめていきます。			
★まとめた資料は、ロイロノートで提出(社会-新しい文化や学問)し、共有します。			
★ミニチェックカードについて 初めは何も見ずに、次に自分のノートを見ながら記入します。ノートを見てわからない時は、教科書の資料集で確認します。			

MP学習の「発展学習」
～6年社会科「歴史ワールド」～



法隆寺



江戸城

「江戸の町のジオラマ」
から芝居小屋

日本の食文化

…調理法 …食材 …料理

かいつ: こまつくん(作者の創り猫)

ここでは、日本の食文化の一つ、和食の成り立ち、元々、縄文時代から、稲作の時代的変化を中心に語ります。和食について、知っていきましょう。

～縄文時代編～
 "焼く"と"煮る"の2つの調理法があった。
 木の葉(どんぐり、くるみなど)植物(木の芽、ゆらぎなど)動物(うさぎ、むささびなど)魚(かつお、たいなど)

縄文フッキー(木の葉とすりつぶし、焼いたもの)

この時代では、お米を食べることができなかった。時代は、お米がなかった。お米がなかった。お米がなかった。

塩を自然に(自然発生的に)魚が生かした。お米がなかった。

～弥生時代編～
 "炊く"の調理法が増えた。
 植物(米、小麦など)

ごはん(玄米) 汁物 塩

ここから、稲作などの農業が盛んになったんだよ!

～古墳時代編～
 "蒸す"の調理法が増えた。
 植物(マメ、ウリなど)動物(シカ、イノシシなど)魚(ナマズ、コイなど)

ごはん 汁物 煮物

食の文化が(太い) 煮物の文化が(太い) 煮物の文化が(太い) 煮物の文化が(太い)

～飛鳥時代編～
 貴族 真鯛、アサギ、カササギ、お酒、お茶
 下級役人 魚、汁物、高菜(きゅうりの漬物)
 庶民 魚、汁物

ここから、食文化が(太い) 煮物の文化が(太い) 煮物の文化が(太い) 煮物の文化が(太い)

「その暮らしさが浮き上がってくる」
六年理科の授業中のノート

課題
 火山の噴火で、
 どのように地層は出来るのか。
 (火山灰)
 色 場所によって色が違う
 (白、黒、透明など)
 細かい
 形 ばらばら 角ばっている
 中には丸いものもあった
 (動画で)
 ・溶岩が固くなって地層になった
 ・大量の火山灰が積って地層になる
 海にモ 礫穴
 アニモナイト 角ばっている
 海にエベレスト8848m

課題
 火山活動や地震によって、
 土地はどのように変化するだろう。
 (調べ方)
 ①教 P140~142
 ②動画
 ③インターネットなど

火山活動によって起こる土地の変化
 どのように変わるのか

溶岩が流し出す。
 溶岩が土地をおお出し、
 土地が溶岩で固まる。
 スは、
 地面が火山灰でおおわれ、
 様子の大きく変化する。

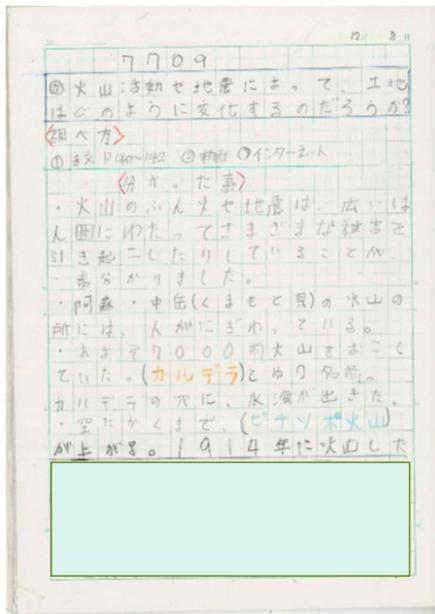
↓

新しい島が
 できた。
 土地に山ができて、
 地震によって起こる土地の変化
 どのように変わるのか

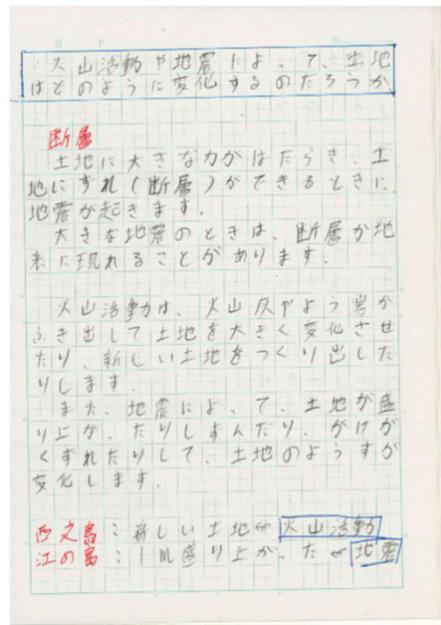
平らだった所が、15年間に数回の
 地震が起きて、高さが増えて、
 崖が出来てきた所。

地震の度に、東側の土地が高くなり、
 ついに山になってしまった所。

断層沿い(その断層)崖崩れが
 起きやすくなっている所。



「その子らしさが浮き上がってくる」
同授業で学んでいた他の児童のノート



MP学習(2学期)
特別支援学級 算数「はかる」

さんすう ぼしよ
算数「はかる」 場所：ふしぎなろうか

どちらがひろい？

10gがいくつ分？

かみひこうき どれだけとんだ？

1mは 体のどこまで？

水のかさをくらべよう

1分でどこまで読める？

何分何秒で読める？

ひろいほうがち！じんとりゲーム

みんなでせいくらべ

たんいをきれいにかこう

ふ
し
ぎ
な
ろ
う
か



いちよう学校マイプラン学習 算数 学習計画表「スーパーテンチュウ・数と計算」

MP学習(3学期) 特別支援学級 算数「スーパーテンチュウ・数と計算」

入門編		年	名前
学習すること	やる順番	習得状況	学習計画表「スーパーテンチュウ」
① 数をかく・よむ(お金の種類)	白		
② 10が10こで100	白		
③ 1が10こで10	白		
④ 100が10こで1000	白		
⑤ 位をかながえてよむ その1	白		
⑥ 位をかながえてよむ その2	白		
⑦ ちょうどはらう その1	白		
⑧ ちょうどはらう その2	白		
⑨ ちょうどはらう その3	白		
⑩ たし算ではらう その1	白		
⑪ たし算ではらう その2	白		

実践編		やる順番	習得状況
【1】 ひとつだけ買う・ちょうどはらう	白		
【2】 値段の違うものをいくつか買う・ちょうどはらう	白		
【3】 同じ値段のものをいくつか買う・ちょうどはらう	白		
【4】 買った物をして、おつりをもらう	白		

バックヤード編 上学年		やる順番	習得状況
㊦ おなじ数ずつわかる その1	白		
㊧ おなじ数ずつわかる その2	白		
㊨ 割り引き価格にする(半額) その1	白		
㊩ 割り引き価格にする(半額) その2	白		





FSP (フリースタイルプロジェクト)

~個人総合、個人研究~

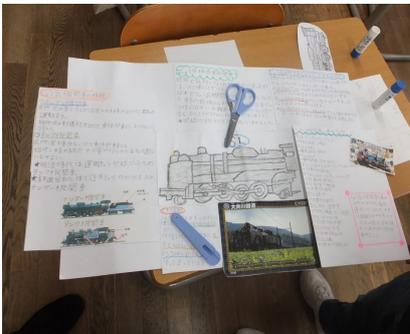
◎学習方法に加えて、学習内容も子どもたちが決める
・相談して進める

◇取組みの枠組み

- 教育課程上の位置づけ(対象教科や時間数等)
 - ・総合的な学習の時間として実施
 - ・特別支援学級を含め、4年以上で実施
 - ・一回20時間で年2回(年間40時間)
- 教材や学習内容
 - ・担任と相談しながら、子どもたち一人一人が課題を設定
 - ・必要な材料・道具等は基本的に個人がすべて準備
- 指導体制
 - ・各学年の担任(活動中は、担任も自分のテーマに取り組む)…活動は学年・学級オープン
 - ・場所の担当を決め、そこで活動する子どもたちを見守る(危険回避や求めに応じる)
 - ・子どもたちと教員側で実行委員会を作り、その合同会議によって活動内容を検討
- 活動場所
 - ・課題や探究プロセスに応じて、活動場所を自分で確保



自分の
得意や興味関心
に基づいて





自分でも
気付かなかった
自分に出会う



気になったことを
探究し続ける



◇取組みを振り返って

- 2割(MP学習やFSP等)の授業により、8割(通常)の授業も変化
 - ・子どもたちの学習意欲の高まり
 - ・教師の授業への向き合い方(子どもの意欲の生かし方、内容研究の大切さの認識)
- 一人で活動し学ぶことが、自信や自己有能感を高める → 暮らしを創る
- その子らしいきらめきは、集団の中で個として学ぶことで際立つ
- 必要に応じ、適切な人・物・ことに積極的に関わる
- 問いかけに対し、自信をもって自分らしく最後まで説明する

- 子どもたちの学びの姿をゆとりをもって観ることができる → 一人一人のよさ
- 2割の授業では、点数に表れる「学力」や生活の「環境」の差が目立たない
- 学校全体の雰囲気落ち着き、問題行動が減少傾向
- 不登校傾向の子どもたちも2割の授業へ積極的に参加

- 保護者からも「子どもたちが2割の授業を楽しみにしている」との声が届く

今後に向けて

- ◎ 子どもたちは生まれながらにして有能な学び手であることを信じ、子どもの主体性を大切にしたい取組みを推進
 - ◇ 取組みの「型」に拘泥することなく、「自由、自己決定、居心地、信頼、自信、意欲」などの具現化
 - ◇ 一人一人がかけがえのない存在で、その子だけのきらめきをもっているという意識
 - ◇ 学びの主体である子どもたちとの「相談」の重視
 - ◇ 学校教育についての発信を続け(HP等)、子どもたちはもとより、保護者や地域の方々の理解を深める

■ 天童中部小学校の実践紹介

◇ホームページアドレス
<https://www.tendo-chubu.jp/>



◇ウェブサイト

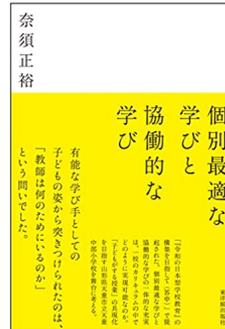
NHKハートネットTV<記事>

“浮きこぼれ”の子どもたち

【前編】見過ごされてきた生きづらさ

【後編】みんなの学びに向き合う学校とは？

◇本



ありがとうございました。

 天童市立天童中部小学校 校長 大谷敦司